

## 第6学年1組 国語科学習指導案

令和7年6月16日(月)

第5校時(13:15~14:00)

荒川区立峡田小学校

第6学年1組 32名

### 研究主題

### 自分のよさや可能性に気付く子の育成

～受容的、肯定的な対話と友達との関わりを通して～

#### 1 単元名 本は友達

教材名 「私と本」、「星空を届けたい」(光村図書6年)

#### 2 単元の目標

◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。

(知・技(3)オ)

◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。

(思・判・表 C(1)オ、カ)

◎すすんで読書の役割について理解を深め、これまでの読書生活を振り返って、テーマに着目した本の交流をしようとしている。

#### 3 単元設定の理由

##### (1) 児童の実態

図書の時間が好きで、自分の好みの本であれば集中して読むことができる。読み聞かせも楽しみにしている児童が多い。傾向としては、同じ作者の本、シリーズ本、歴史の本、絵本などを好んでいる。峡田小学校が選ぶブックリストを通して、自分の好み以外の本も読もうとする習慣は身に付いているが、長い文章の読み物になると、積極的に読む児童と読まない児童に二極化している。読み聞かせをした本や友達が読んでいる本に興味をもち、次に貸し借りをする約束をしたり、気に入ったページを紹介したり、一緒に読んだりしている場面も多く見受けられる。

友達どうして本の紹介をするのは、「うちどくカード」や読書感想文の読み合いを通じたものが多く、ブックトークは初めてである。本単元を通して、自分のこれまでの読書生活を振り返りながら、ブックトークを行い、読書が自分の考えを広げるきっかけになることに気付かせていきたい。また、友達のブックトークを聞くことで、様々なジャンルやテーマへと読み広げていきたい。

##### (2) 教材について

夏休み前のこの時期に、日常的な読書活動において、様々なジャンルやテーマへと読み広げていくことを促していく。また複数の本を読み、ブックトークを行うことは、自分の好きな本に気付いたり、自分の考えを広げたりするなど、本との関わりに目を向けることにつながる。本には、作者や筆者の思いや考えが表れているものである。そのことに気付きながら読み、ブックトークを聞かせることで、読書の幅が広がるきっかけとなるようにしていきたい。さらに友達との関わりを通して、考えを受け止めながらブックトークを聞けるようにしていきたい。

#### 4 評価規準

| 知識・技能(P.25~P.27 P.131)                             | 思考・判断・表現(P35~P.39 P.150)                                                             | 主体的に学習に取り組む態度                                              |
|----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。<br>(3)オ) | ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめている。<br>・まとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。<br>(C(1)カ) | ・進んで読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づき、これまでの学習をいかして、ブックトークをしようとしている。 |

#### 5 本単元とキャリア教育で育みたい力

- ◎ **自**自分で考え、気付く力…意欲的に考え、課題や解決策、自分のよさに気付くことができる。  
(自己理解・自己管理能力)
- **友**友達等と関わり、学び合う力…友達との話し合い、活動を通して自分の考えを深めることができる。  
(人間関係形成・社会形成能力)

第6学年1学期は「最高学年へ翔けだす～We can do it～」をテーマに、自分が選んだ課題に対してまずは挑戦してみる、という気持ちをもたせている。少しずつ成功体験を積み、最高学年としての自信をもてる1学期でありたいと考える。本単元は、自分の読書活動を振り返り、同じテーマの本を関連付けてブックトークを行う学習である。ブックトークを行う本を選ぶために、本と対話し、紹介文を書くために自分と対話するなど、「自分で考え、気付く力」を育むことができる。また、ブックトークを通して知ったこと、考えたことを友達と対話することで、「友達等と関わり、学び合う力」を育成し、自分の読書活動の深まりにつなげていく。

## 6 目標にせまるための手だて

### 手だて①言葉の宝箱の活用〈伝える〉

- 自分の表現したいことを、相手により分かりやすく伝えるために、国語の教科書の巻末にある「言葉の宝箱」を活用する。主にブックトークの原稿作りの際に使用する。

### 手だて②話し合いの約束の活用〈受け止める〉

- 今までは、学級会で意識させていた「話し合いのやくそく」を国語の授業でも活用する。今回は、ブックトークを行う際の話の聞き方、交流の仕方でも活用する。**(友達と関わり学び合う力)**  
※今後は「話すこと、聞くこと」を重視した単元での使用も考えていく。

### 手だて③児童の発言をつなげる工夫〈受け止める〉

- グループ発表や全体共有では、発表後の感想の交流ができるよう話型を提示する。また、発表した児童の読書への取り組み、思いなどを肯定的、受容的な言葉を使い、受け止め広げていく。**(自分で考え、気付く力)**

### 手だて④学校司書によるブックトーク〈伝える〉

- 選んだ本についてブックトークで、自分の思いや考えを伝わりやすくするために、担任だけでなく、学校司書によるブックトークを聞いて学ぶ。

## 7 単元計画(全6時間 6/6)

| 次   | 時 | ○学習内容                                                                                       | ◇指導上の留意点<br>☆評価<br>★見いだせる「キャリア教育で育みたい力」                                                                                |
|-----|---|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1次 | 1 | ○自分と本との関わりを振り返り、学習計画をたてる。<br>○本を読むことをきっかけに、どのように知識や考えを広げたり、深めたりしているか話し合う。<br>○教師のブックトークを聞く。 | ◇これまで読んできた記録を参考に、読書生活を振り返りをさせる。<br>◇これまでに読んだ本から考えを広げた経験を話させる。<br>☆これまでの読書生活を振り返り、読書の役割について期待を深めようとしている。<br>(知識・理解)(記述) |

|     |              |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                             |
|-----|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第2次 | 2<br>3<br>4  | <p>○テーマに着目して、複数の本を読んでいく見通しをもつ。</p> <p>○教師のブックトークを聞く。</p> <p>○「星空を届けたい」を読んで感想を交流する。</p> <p>○ブックトークで紹介する複数の本を探して読む。</p> <p>○ブックトークで話す内容を考える。</p> <p>(図書の時間と並行して行うので、以上の内容を3時間掛けて行う。)</p> | <p>◇教科書を例に、ブックトークで話す内容を考えさせる。</p> <p>☆文章を読んで、理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。<br/>(思考・判断・表現)(記述)</p> <p>☆これまでの学習をいかしてブックトークをしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)(記述 発言)</p> <p>★自分で考え、気付く力</p> |
| 第3次 | 5<br>6<br>本時 | <p>○ブックトークで本の魅力や自分と本との関わりを伝え合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>                                                                                                                                   | <p>○グループでブックトークをさせ、互いに感想を交流させる。</p> <p>○これからの自分と本との関わりについて考えさせる。</p> <p>★自分で考え、気付く力</p> <p>★友達と関わり学び合う力</p>                                                                 |

## 8 本時の活動(6/6時間)

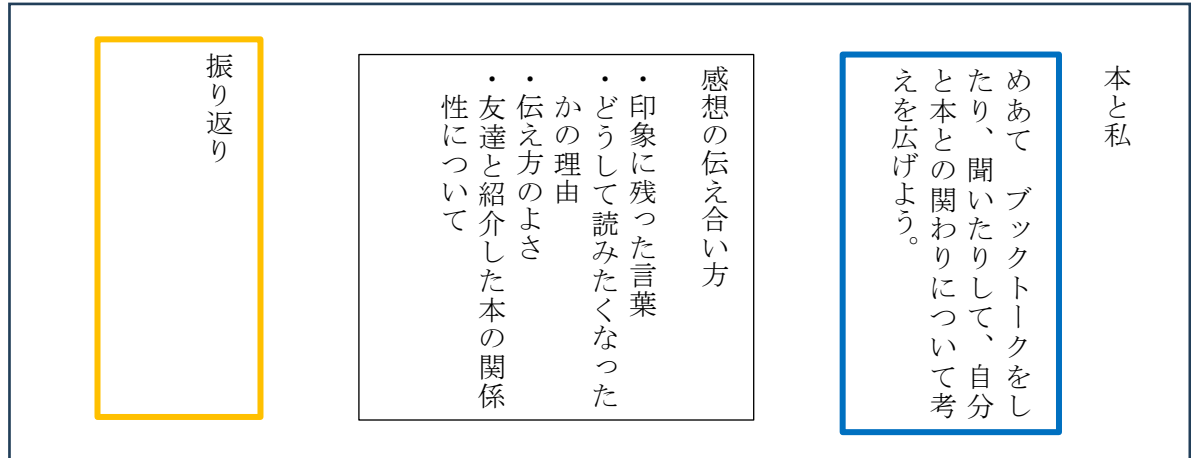
### (1) 本時のねらい

ブックトークをしたり、友達のブックトークを聞いたりして、自分と本との関わりについての考えを広げることができる。

### (2) 本時の展開

| 時間         | ○児童の活動                                                          | ◇指導上の留意点                                                                                        | ☆評価<br>★見いだせる「キャリア教育で育みたい力」                                                         |
|------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>5分   | <p>○前時の活動を振り返り、今日のめあてを確認する。</p>                                 | <p>◇前回の振り返りを思い出させる。</p>                                                                         |                                                                                     |
|            | ブックトークをしたり、聞いたりして、自分と本との関わりについての考えを広げよう                         |                                                                                                 |                                                                                     |
| 展開<br>30分  | <p>○グループでブックトークを行う。</p> <p>○感想を伝え合う。</p> <p>○代表者が出て全体で共有する。</p> | <p>◇グループ編成は、テーマが別になるようにしておく。</p> <p>◇話し方の上手さではなく、テーマの選び方、自分と本との関わりをどう考えているか、などについて感想を交流させる。</p> | <p>☆文章を読んで、まとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。<br/>(思考・判断・表現) 発表・記述)</p> <p>★友達と関わり学び合う力</p> |
| まとめ<br>10分 | <p>○今後の自分と本との関わりや読書することのよさについて考える。</p>                          | <p>◇自分の変容について振り返りができるよう声掛けをする。</p>                                                              | <p>★自分で考え、気付く力</p>                                                                  |

## 9 板書計画



## 10 授業の視点

- ・教師も児童も、肯定的、受容的に友達の話聞き合うことができているか。
- ・ブックトークを通して、自分の思いや考えを伝えることができているか。